



平成30年度中央区まちづくり事業

1 まちづくりの考え方

中央区のまちづくりの基本理念

住民が、ゆるやかにつながりあい、楽しみながら、生きがいを持って、めざすくらしのあり方をみずから考え、そのために、なにが必要か、なにをすべきか、検討し、選択し、行動できる、真の自主自立のまちを目指します。

行政の担う役割

- 地域が主体となって進める取り組みの支援
- 行政が担うべき、地域課題の解決および、めざすまちづくりへ向けた取り組み
- ※ 突発的な課題や地域ニーズへの対応、新たな展開へつながる調査研究やモデル事業

まちづくりの方向性

① 地域活動の負担軽減

気軽に参加できる、身近な、魅力ある、ためになる、楽しい地域活動

徹底的な業務分析（コンサルティング）、効率的な予算配分、きめ細やかな情報の共有、活動の質の向上、負荷の均等化ではなく最適化、業務のスクラップアンドビルド、アウトソーシングの検討、マニュアル化の推進、フリーライドのいない仕組みづくりの検討、ICTの活用など

② 生きがいとしての地域活動

人生の楽しみ、生活の潤い、つながりが心地よい地域活動

地域活動を、多くの時間がとられ、奉仕の精神が求められる、といったネガティブなものから、魅力にあふれた、実りある、楽しみながら取組める、といったポジティブなもの、趣味やライフワークの1つとして、わくわくできるようなものとして感じられるようにする。

③ おたがいさまでささえあう地域づくり

多様な世代、多様なライフスタイルの住民が、地域で安心して暮らし続けていくことができるよう、お互いの理解を深めあう中で、地域における、ゆるやかな役割を自覚し、できる範囲でお互いにささいあえる地域づくりを進める。

※ 持続可能な地域となるために

地域の事業者や、高校、大学等教育機関をはじめとした様々な団体との連携、さらには、地域間の連携など、ひろがりのあるつながりづくりをすすめるとともに、地域資源を十分に活用し持続可能な地域を目指す。

2 平成30年度の主な取組みについて



①地域活動の負担軽減

- 地域リーダー応援
会議時間の短縮、当事者意識の醸成を目的として、活発な意見、議論が出来る会議の進めるための取組み。
- SNSを活用した情報発信
LINEを活用し、地域情報を中心に、子育て、防災等の行政情報も含め、きめ細やかな情報発信、収集を行うための取組み。

②生きがいとしての地域活動

- セカンドライフ応援
「企業」から「地域」にその拠点を移すシニア世代が地域活動に慣れ親しむ機会をつくるためのアプローチの検討
- 校区の魅力発見発信
地元企業と連携し、児童生徒と地域との交流を深めながら、地域や企業等に関する理解や関心を高める取組み。

③おたがいさまでささえあう地域づくり

- 中央区地域防災支援
地域の避難所リーダーの育成支援、および住民の防災に関する知識の向上、意識の啓発に向けた取組み。
- お互いさまのまちづくり研修
地域包括ケアシステムの構築に向け、住民が、その必要性や課題、方向性について学び、共通認識を持つための取組み。
- マンションコミュニティ形成支援
マンションコミュニティ形成に関する現状分析、課題の整理等を踏まえた有効な施策の検討

※持続可能な地域となるために

- 大学連携
大学の集積という区の特徴を活かし、各大学が進める知の拠点推進事業（COC+）をはじめ、様々な枠組みを活用し連携した取組み。

※地域が主体となって進める取り組みの支援 ～ 柔軟できめ細やかな補助制度

地域、あるいは企業等が、主体的に、地域課題の解決や地域コミュニティの活性化など、めざすまちのすがたに向けた取り組みを推進するために必要な経費を支援する。

※新たな展開へつながる調査研究やモデル事業

事業化するまで具体化していないもの、効果が不透明なものなどについて調査研究やモデル的なトライアルによる効果検証などを行う。